

1 日時 平成14年 3月 28日(木)13:30～15:00

2 場所 ほっとプラザ大供 2階 第2研修室

3 出席者 別紙委員名簿を参照(12名出席)

4 傍聴者 なし

5 会議の概要

前回までの審議をふまえて作成した「市政の中期的な指針の中間答申」に対する当部会としての報告書(案)を示し、自由に意見等をいただいた。

6 主要な意見

もっと言葉を補った方が良いところがある。

たとえば、バリアフリーなどは物質的なものだけでなく、精神面におけるバリアフリーについても述べる必要がある。

サービスについて量だけでなく質的にどうなのかということも非常に大事な問題である。たとえば保育園にしても、待機はないにしてもその中身はどうかといった問題が残る。

「保健・福祉部会」ではあるが、保健・福祉に加えて教育というものも含めて考えていかなくてはならないと思う。

成長率だけを目標とした従来型の経済のあり方についてもそれが生み出した弊害というものを考えながら、男女共同参画や家庭のあり方など、今後の社会の枠組みを検討する必要がある。

例えばごみのポイ捨てや落書き、騒音問題等に現れているように、人々の心に公共心が欠落していると思われる点があり、公共心を育てなければならぬと感じている。

コンビニの前や駐車場ではなく、子供たち(小学校から高校生まで)が集えるような場所が必要ではないか。学校が週5日制であれば必要性は増してくるのではないか。

「これからの福祉に求められるもの」の中に“市民一人一人の保健・福祉に対する意識の向上”という一文を追加するとともに、市民の自覚・意識向上を促す教育・啓発に努める必要があると思う。